まつかぜ
平和学園・アレセイア湘南
校友会
VOL. 7
DECEMBER 2026

「まつかぜ」の命名は、初代学園長村島帰之先生の著書「松風のひとりごと」に因みます。

創立80周年を迎えて

山口　洋一郎（1959年小卒）

昭和21年創立の平和学園は私の誕生年と同じです。私も学園と同じ80年を迎えたことになります。

その当時の平和学園一帯はニセアカシアの林に囲まれたのどかな丘の上に校舎群がありました。特徴的なのは各教室が2教室ワンセットになって松林の中に点在していたことです。講堂、職員室等は別棟になっており、砂山を行ったり来たり駆け回っていました。

学校はおおむね1学年30人から40人くらいで、私の学年は40人前後で、女子が多く、男子は15名程度でした。（白十字会林間学校の生徒も数名含まれていましたが）、みんな仲良く過ごしたと記憶しています。小さな学校でしたが、キリスト教精神に基づく礼儀正しい豊かな雰囲気のなかで育てられたと思います。

思い出の一つは、1，2年生の頃よく友達と、小学校の校門を出て斜めの小道を行くと村島先生が静養の為にお住まいになっていたお家があり、窓越しににこにこしていらっしゃる先生のお顔を拝見したことを覚えています。

又、その頃は朝鮮戦争さなかで、現在の辻堂団地の所から米軍駐留軍が烏帽子岩に向かって砲撃の訓練をしていました。

小学校の前から海まで続く松林の道を、戦車が通り、我々子供達にチュウインガムを配っていたのを思い出します。

中高等学校生との交流は年1回の全校参加の運動会とバザーだったと思います。その中でも小1から高3まで4チームとなってつなぐスウェーデンリレーは人気で、みんなでものすごい応援をしたことを覚えています。

又、鉄砲道の改修で中高の門のあたりに道路が造られましたが、それまではテニスコートで、中高生（橘理事長もその一人）が練習しているのをよく見かけました。

小学校を卒業してからは学園をあまり訪れる機会はありませんでしたが、その当時の高校の新校舎（現校舎ではない）でクラス会を何回か開いたのを覚えています。その頃も周囲は松林で自然豊かな環境でした。

大分時は過ぎ、50代になって私は、小学校同窓会の会長を、さらに学校法人平和学園理事を仰せつかり、59歳の時に、2006年の創立60周年記念事業の責任者に任命されました。

中学高等学校は2000年には名称もアレセイア湘南中学高等学校と改め、それまでの女子高から男女共学にかわり、校舎も現在のレンガ張りの学園らしい風格のある佇まいになっていました。しかし生徒募集は思ったように伸びず、ここでもう一度再生された学園の存在を地域に知ってもらう必要を感じました。

そこで、プレ60周年には登山家の三浦雄一郎氏（息子さんが平和学園一時在籍）の講演会を開催して盛り上げ、60周年には養老孟司先生に講演をお願いし、さらに恒例の平和祭や、講堂でのクリスマスパイプオルガンコンサートには同期の沼尻めぐみさんをウイーンからおよびし弾いていただくなど沢山のプログラムを用意し、多くの地域の方に足を運んでいただきました。

おかげ様でアレセイア湘南中高および平和学園小学校を知っていただき60周年記念行事は成功裏に終わることができました。

その直後、夏村理事長より後任を託され理事長をお引きうけいたしました。その頃の学園経営の難しい時期を12年間務め、学園を上向きにすることができました。



この時期を乗り越えられましたのは、中山元学園長、飯塚元校長をはじめ多くの先生方職員の皆様のご努力の結果だと思います。

平和学園が培ってきた良さを残しながら、現代の世に役立つ子供達を育て、これからますます学校法人平和学園が発展されますことを心よりお祈りしております。

赤ずきんと平和の子　～ウィーンの舞台から～

瀬戸　元（1968年小卒）

小3の2学期から転入した小生、秋の学芸会で「赤ずきん」のオオカミを演じさせて頂くことになりました。脚本では終幕、おばあちゃんに変装してベッドに臥っているところに猟師が入って来て「悪い狼はどこだ？」と叫ぶと「ごめんなさい。
もう悪いことはしません」と赦しを乞う筋書きですが、子供心に不自然だと思い、本番前の総稽古の際「狼は向こうへ逃げて行きました」と言いました。
急な変更に困惑した猟師役の金子家敏君は舞台で立ち往生、客席にいた各学年の生徒達が笑い出してリハーサルは中断しました。

演出なさっていた担任の臼井進先生に叱られ、決してふざけたつもりはなく、良かれと思っていた小生は、悔しくて泣きました。
ところが「共同作業をする中で自分勝手なことをしてはいけない」と諭され、動機が何であれ、やり方を間違えると元も子もないということ、他のひとのことも考えるべきということを学びました。

その後、紆余曲折を経て1986年に渡欧。オーストリアの首都ウィーンを拠点に舞台と映画で俳優業をして40年になります。
自己表現を求められる創作の場で、独りよがりにならず、それぞれ個性の強い共演者やスタッフと調和の取れた環境で仕事をするのは易しいことではありません。
60年前に臼井先生に頂いた貴重な教えが、競争の激しいプロフェッショナルの世界で、バランスある人間関係を作る基礎になっています。

これまでドイツ語圏を中心に東西ヨーロッパ20ヶ国余りに出演している比較的、珍しいケースだと思います。
こちらにはアジア系の俳優が少ないこともあって様々なキャラターを演じてきましたが、特に遣り甲斐を感じるのは、やはりクセのある役柄です。悪い狼の成れの果て、「三つ子の魂、百まで」という処でしょうか？

「三つ子の魂」と言えば、平和学園ではよくお祈りをしました。 この習慣は今でも守っています。
（特に食事の前！）感謝をすること。
地上には自分たちの他にも人間がいて、その人たちの事を思うこと。己の上にある神との対話は、自分の立ち位置を見失わない道標となってくれます。

東西冷戦が終結して25年経ったヨーロッパでは、国家間の壁を低くして統合・コラボが進む一方、民俗・文化、イデオロギー、宗教、そして経済的な利害など、様々な対立があり、社会の分断が顕著と言われます。
極端な意見に煽動されたり、ともすれば排他的になりかねない世相の中で、自分ファーストではなく、互いに思いやるのが社会の発展への正道と考えます。

平和学園で「私たちは平和の子」という概念を教わりました。 世界にそういう自覚のある人間が増えていくことを切望する今日の欧州生活です。







ひとつのことを長く続けるということ　～小学生で見た夢を追って～

箕作（坂井）　裕子（1976年小卒）

平和学園小学校を卒業して半世紀、50年が経ちました。グラウンドではなく砂地に松の根がうねっている校庭で遊んだことや、さまざまな行事はそれぞれに思い出深いのですが、なかでも印象に残っているのが「秋の大運動会」です。中高の広いグラウンドで学園全員参加の、まさにお祭りのような特別な日でした。

でも、私は自他共に認める「運動音痴」。もちろんかけっこは常にビリ、球技も体操もできた覚えがありません。それでも運動会が好きだったのは、文化祭と並び中高のお姉様方と一緒の行事の特別感があったからかもしれません。

現在、私はラリーの選手として活動しています。半世紀前は「自他共に認める運動音痴」だった私が、その後モータースポーツの世界に身を置くことになったのですから、不思議なものです。エンジンの力に頼りたかった？からかもしれません。

ラリーはサーキットを走るレースとは違い、ドライバーとナビゲーターもしくはコ・ドライバーと呼ばれるふたりが乗って公道を走る競技です。

私は40年ほど前にドライバーとして始めたのですが、当時は完全な男社会、すぐに実力の差を思い知らされ（運動音痴だし……）、それならとやってみたナビゲーターが意外におもしろく、結局現在まで続けてしまうことになりました。



ナビゲーターは道案内や競技中の時間管理を担う役割ですが、タイムを競う区間（スペシャルステージ＝SS区間）では、道案内の意味がちょっと変わります。

ラリーは山道を中心としたコースを合計で50km以上走るので、道の形状をすべて覚えることは不可能です。

そのため、事前に下見走行をして、ドライバーと一緒に次のカーブは右か左か、どれくらい曲がっているか、路面はどうかなどをすべて書き込んだ「ペースノート」を作成し、本番ではそのノートの読み上げを聞いてドライバーが走ります。 そのためこの形式のラリーでは、ナビゲーターはコ・ドライバーという呼称になります。

勝負には様々な要素が絡み合いますが、やはりこの「ノートを使った共同作業」が、大きなウエイトを占めていることは間違いありません。私はこのコ・ドライバーをしています。

今年、卒業50周年ということで、学年同窓会を企画していただきました。私は当日参加することは叶わなかったのですが、幹事諸氏のご尽力により何人かの元旧友と繋がることができました。

モータースポーツなんぞに関わっていると聞いて、かなり意外に思われたと思うのですが、驚いたことに「小学校の時の夢を叶えたんだね」と言ってくれた方がいらしたのです。

レーサーになりたいと言っていた記憶はうっすらありますが、まさかそんなことを半世紀も覚えていてくれたなんて！　自分が続けてきたことに対してそのようなひと言をいただけたことは、ほんとうに嬉しいことでした。

1学年1クラスで6年間というのは、お互いに自分が思っているよりも強い結びつきがあったのだなと、あらためて気づかされた思いです。

私はチームに恵まれたこともあり、幸いにもこの「コ・ドライバー部門」で全日本選手権のクラス別（注：排気量や改造範囲によって数クラスに分かれています）年間チャンピオンを3回いただくことができました。

一応スポーツという名のついた分野のなかでも運動音痴（しつこい！）が取り組めるジャンルと出会えたことで、無意識のうちに「好きこそ物の上手なれ」に近づいたのかもしれません。還暦をとうに過ぎてしまいましたが、まだまだ現役です！


RALLY三河湾 20
Supported by AIC
JAF JAPANESE RALLY CHAMPIONSHIP ROUND.1 2025.2.2
AICHI SUZUKI
BRIDE
BRIDE
DUNLOP
DUNLOP
岡崎 300
に 97-23




2025 JAPANESE RALLY CHAMPIONSHIP
"JN-4 CLASS"
SATOSHI TAKAHASHI
YUKO MITSUKURI
CHAMPION
DUNLOP
DUNLOP
CHAMPION
DUNLOP
CHAMPION

やきとり「せっちゃん」を訪ねて　～卒業生のお店紹介 ～

暖簾をくぐると、「おかえりなさい！」と明るい笑顔が出迎えてくれました。家に帰ってきたような心地よさに、思わず「ただいま」と言葉がこぼれます。

店名は、二代目を務める卒業生の遠藤妙子さん（1970高卒）のお母様・せつこさんの愛称から名付けられました。店内には「せっちゃん」と書かれた見事な一枚板の看板が飾られています。

来年で創業70年を迎える歴史ある老舗ですが、現在は妙子さんご夫婦と、その後を継ぐ娘さんのご家族で店を切り盛りされています。ご主人が備長炭でじっくりと焼き上げる焼き鳥はどれも絶品で、ついついたくさん注文してしまう美味しさです。

妙子さんは在学中、ソフトボール部に所属。厳しい練習にもめげず、仲間たちと青春時代を謳歌されました。今でも当時の部活仲間がお店に集まり、賑やかに昔話に花を咲かせているそうです。

辻堂駅からもすぐ近くです。同窓生の皆さんもぜひ、美味しい焼き鳥と温かい笑顔に会いに、暖簾をくぐってみませんか。





【店舗情報】
▽住所：藤沢市辻堂2-5-2（辻堂駅南口より徒歩2分）
▽営業時間：17:00～22:00
▽定休日：日曜日
▽営業日：月曜日～土曜日

心に響く聖夜の調べ「クリスマス・チャリティー パイプオルガンコンサート」
2026年は12月5日（土）開催、美しい歌声とともに特別なひとときを

校友会の皆さま、こんにちは！
昨年2025年12月6日（土）、平和学園賀川村島記念講堂にて「クリスマス・チャリティー パイプオルガンコンサート」が開催されました。

当日は、山本由香子さんによる会場全体を優しく包み込むようなパイプオルガンの重厚な響きと、岩瀬うららさんの優しく、時には切なく心に染み入るチェロの音色が融合。バッハやヒールシャーの名曲に浸りながら、ひと足早いクリスマスの雰囲気をたっぷりと堪能しました。
さらに、平和学園小学校ハンドベルクラブの子どもたちが奏でる澄み切ったベルの音が響くと、指揮をする先生の緊張をよそに、講堂全体が神秘的な静寂に包まれ、誰もがうっとりと聞き入っていました。
このチャリティーでお預かりした収益金は、茅ヶ崎市内にある児童養護施設へ大切に寄付させていただきます。

今年は、ソプラノの金子裕美さんをお迎えし、荘厳なパイプオルガンと子どもたちのハンドベルとの共演をお届けします。美しい歌声と懐かしいベルの音色に包まれる、特別な一日を過ごしてみませんか？
ご家族やご友人をお誘い合わせの上、ぜひ冬の賀川村島記念講堂へお越しください。
皆さまとともに、温かいクリスマスのひとときを過ごせることを楽しみにしております！



時空を超えた奇跡！？卒業50年目の同窓会を開催！



　還暦を過ぎ、卒業からなんと半世紀。先日、30年ぶりとなる同窓会が劇的な形で実現しました！
　きっかけは、あるメンバーが昔の記憶を頼りに、ひょっこりと同窓生のお店を訪ねてくれたこと。そこから「みんなに会いたいね！」と一気に話が盛り上がりました。

　校友会の事務局に確認し、連絡先が判明したのは全体の半数の17名ほどでしたが、当日都合のついた8名が大集結！
　見た目は「お互い様」で、変わった人も変わらない人もいましたが、ひとたび口を開けば中身は当時のまんま。一瞬で幼少時代にタイムスリップし、すっかり意気投合して夜更けまでワイワイと飲み明かしました。



　今回は少人数での第一弾となりましたが、当日残念ながら参加できなかった皆さん、ご安心ください！近いうちに必ず「第二弾」を開催します。次はもっとたくさんの仲間と乾杯できることを、今から楽しみにしています！（1976小卒）



皆さんからの投稿をお待ちしてます！

笑顔あふれる「平和学園小学校バザー」！　校友会ブースから

　昨年2025年11月8日（土）に開催された「平和学園小学校バザー」、皆さまの温かいサポートのおかげで大盛況のうちに幕を閉じました。



　校友会のブースでは、毎回子どもたちに大好評の「チョコすくい」をはじめ、「寄贈品バザー」「似顔絵」「自転車メンテナンス」を出店。
　当日は「次は何をしようかな？」と目を輝かせた生徒さんたちがずらりと列をつくり、にぎやかで温かい笑顔がずっと絶えない最高の1日となりました。
　足を運んでくださったたくさんの皆さま、本当にありがとうございました！
　2026年は11月3日（火・祝）に開催いたします。
今回は、いつもの定番メニューに加え、新しく「キャップホイッスル作り」の工作コーナーも仲間入りします！子どもたちが夢中になって自分だけのホイッスルを作る姿が、今からとても楽しみです。



バザー寄贈品急募！

＜販売用寄贈品送り先＞
〒253-0031
茅ヶ崎市富士見町5-2
平和学園小学校

　当日はなんと、あの人気の洋菓子店「ル・シャンテ」の特別出店も決定しています！おいしいスイーツをお目当てに、ぜひご家族やお友だちと一緒に遊びにきてくださいね。
　なお、今回のバザーの売上金は、PTAを通じて子どもたちのこれからの活動のために大切に寄付させていただきます。
　懐かしい母校の雰囲気を感じながら、みんなで一緒に楽しい秋の1日を過ごしませんか？
　当日飛び入りお手伝いも大歓迎！皆さまのお越しを、校友会メンバー一同、心よりお待ちしております！

平和学園 創立80周年記念式典のご報告 ～これまでの歩みに感謝を込めて～

私たちの母校、学校法人平和学園がめでたく創立80周年を迎えました！
これを記念して、4月23日に茅ヶ崎市民文化会館にて記念式典が執り行われ、小学校・中学・高校の児童や生徒、教職員など、たくさんの学園関係者が一堂に会しました。

式典は温かい雰囲気に包まれた2部構成。
第1部では佐藤光茅ヶ崎市長をはじめ、かつて理事長などを務められた夏村充牧師らが登壇し、学園へのお祝いと励ましの言葉をいただきました。
続く第2部は一転してハンドベル部や吹奏楽部の演奏で賑やかな音楽会に！可愛い幼稚園児たちも参加し、さらには幼稚園・小学校のPTAの皆さんも加わって、客席一体となった素晴らしい合唱が響き渡りました。最後は参加者全員で声を合わせて歌い、80周年の節目を華やかに締めくくりました。

橘明子理事長は、キリスト教の愛の精神を土台に「真の平和をつくる人」を育んできた学園の歴史を振り返り、「これまでの歩みに感謝し、未来へのさらなる祝福を祈りました」と語られました。
また、これからの学園が大切にしていく『教育・人材・環境に吹く新しい風』について、「保護者や地域の皆さまと手を取り合い、90年、100年とその先の未来へとつないでいきたい」と、次の時代への決意を新たにされていました。

維持会費納入の通信欄にいただいたメッセージ

◇ 岡崎先生まだお元気でいらっしゃいますか？今年の通信欄にお名前が記されていなくて心配です。
◇ まつかぜありがとうございました。毎回楽しみにしております。
◇ 10月15日に60年卒の同窓会を横浜でやりました。16名が集まり和やかな素晴らしい集まりでした。
◇ 50年前に5年程教諭として奉職させていただいたものです。名簿には掲載しないでくださいますよう。
◇ もと学園理事で高校同窓会長（高校9回生）を長年つとめました中山篤君が8月9日に83才で永眠しました。
◇ まつかぜ誌で村島校長をはじめ大橋牧師、噴水池など80年近く前の情景が浮かび懐かしかったです。学園紙では主にある教育が「誰かの役に立った」という学生さんの声に感動しました。若き日に創り主を覚えることは一生の幸せです。
◇ 会報まつかぜお送りいただきありがとうございます。なつかしく読ませていただいております。

維持会費納入のお願い

校友会運営にご協力ありがとうございます。
当会はボランティアで運営されており、会費は会報まつかぜの発行やWEBページの維持、学園支援などに使わせて頂いております。
維持会費は同封の振込用紙を利用して納入していただきますようお願いいたします。

1口 1,000円　何口でも結構です。
銀行振込は下記より

スルガ銀行　茅ヶ崎支店（普通）503511
平和学園・アレセイア湘南校友会

2025年度校友会会計報告

入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
入会金	1,640,000	パイプオルガンコンサート	216,999
維持会費	308,000	まつかぜ・学園広報	284,842
寄付金収入	218,253	支援金	280,000
事業収入	16,475	卒業記念品	650,320
その他	14,888	その他	47,485
小計	2,197,616	小計	1,479,646
前期繰越金	6,691,029	次期繰越金	7,408,999
合計	8,888,645	合計	8,888,645

平和学園・アレセイア湘南校友会への連絡・お問合せ

メールアドレス：heiwagakuen@gmail.com　WEB：https://www.heiwa-gakuen.com
郵便：253-0051　茅ヶ崎市富士見町5-2平和学園内　平和学園・アレセイア湘南校友会
電話：0467-87-1662
※校友会・同窓会への連絡がある旨をお話頂ければ、折り返し電話を差し上げます。

住所変更等は下記ホームページから手続きできます。